平成21年10月6日

資料１

新宿西口現地本部訓練の概要

工学院大学

１　実施日時（※資料2）

　平成２１年１０月１５日（木）１３時００分から１５時００分

２　実施場所

　工学院大学1階アトリウム内（※資料3）

３　想定地震、発災時間等（※新宿区資料）

　平成２１年１０月１５日（木）１３時３０分　東京湾北部地震発生

４　訓練の目的（※新宿区資料）

　・発災から数時間を想定し、新宿駅周辺の混乱を防止する。

・事業所等が知り得た災害情報等を西口現地本部へ持ち寄り、情報を整理して受発信する実動訓練を行う。

５　参加機関

（1）工学院大学・災害対策本部（※資料2）

①西口現地本部担当：3名

②サポートチーム：1名程度

（2）工学院大学・学生ボランティア

①情報ボランティア：1名程度

②伝令ボランティア：1名程度

③支援ボランティア：1名程度

（3）事業所

　　①現地本部協力者：1名

　　②情報連絡者：2名（A、B）

（4）公的機関

　①帰宅困難者対策班（新宿区、東京都）：数名

②警察・消防機関：数名

６　訓練の主な流れ（※下記時間は訓練進行の目安と考えてください）

１３時００分　大学災害対策本部員等・現地本部協力者集合、訓練の流れ・役割分担の確認

１３時３０分　発災

１３時３５分　西口現地本部設営開始、帰宅困難者対策班到着（40分頃）

１４時００分　西口現地本部活動開始、情報連絡者Aが駆けつけ・状況報告

１４時３０分　情報連絡者Bが駆けつけ・状況報告、各事業所・新宿区災害対策本部・東口現地本部・帰宅困難者支援情報提供支援ステーションへ情報提供（第一報）、情報連絡者Aが各事業所へ状況報告

１５時００分　各事業所・新宿区災害対策本部・東口現地本部・帰宅困難者支援情報提供支援ステーションへ情報提供（第二報）、訓練終了（※希望者：大学体験型訓練へ参加、資料4）、情報連絡者Bが各事業所へ状況報告

　１６時００分　反省会（※希望者：大学28階第一会議室で開催）

　１７時００分　反省会終了

７　本部構成と役割

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 担当 | 役割 | 使用機材(左記番号と対応) |
| 事業者等 | 本部長(責任者) | ①状況把握②状況判断・意思決定③対応指示 |  |
| 　戦略担当 | ①状況把握②状況判断③本部長へ助言 |  |
| **↓　指示　　　　　　　　　　　　↑　報告** |
| 　情報収集担当　 | ①情報連絡者から駆けつけ情報の収集②情報掲示板へ情報シート(情報連絡者作成)の掲示③災害時優先電話による情報収集 | ②情報シート※1③災害時優先電話※2 |
| 　情報システム担当　 | ①情報システムを利用した情報収集②情報システムを利用した情報提供 | ①②災害情報共有システム※3、情報共有ツール※4 |
| 　情報整理担当 | ①情報のトリアージ（情報の優先順位づけ）②重要情報の整理③重要情報の書き出し | ②新宿駅周辺地図、情報整理シート※5、付箋紙③模造紙、ホワイトボード |
| 　情報提供担当 | ①帰宅困難者へ情報提供 | ①新宿駅周辺地図、模造紙、ホワイトボード |
| 　学生ボランティア | ①情報システム担当の支援(情報ボランティア)②各事業所・ビルへの伝令支援(伝令ボランティア)③物資等の調達支援(支援ボランティア) | ①災害情報共有システム※3、情報共有ツール※4 |
| 　情報連絡者 | ①各事業所・ビルの情報を情報シートに整理②各事業所・ビルが知り得た新宿駅周辺の被害情報や鉄道運行状況などの情報を報告③上記活動の支援④現地本部の情報を各事業所・ビルへ報告 | ①情報シート※1③緊急時は災害時優先電話※2も使用 |
| **↑　情報提供　　　　　　　　　　　↓　情報収集** |
| 公的機関 | 帰宅困難者対策班（新宿区、東京都） | ①鉄道・交通路などの情報提供②新宿区災害対策本部、東口現地本部、帰宅困難者支援情報提供ステーションへの情報発信 | ①②防災無線 |
| 警察・消防機関 | ①警察・消防機関による情報提供②警察・消防機関へ情報発信 | ①②防災無線等 |

※1　情報シート(案)は資料5を参照

※2　西口現地本部内に3回線設置

※3　工学院大学によるWebGISを活用した災害情報共有システム

（→昨年度防災訓練時の災害情報を使ってデモ）

※4　危機管理対策機構による情報共有ツール

※5　情報整理シートは検討中